

長崎県 下五島圏域 総合水産基盤整備事業計画

1. 圏域の概要

1)水産業の概要

①圏域内に位置する市町村および漁業協同組合の概要

当該圏域は、長崎県の西方海上約 100km に位置する福江島とその周辺離島からなり、水産業が基幹産業となっている。H16.8 に旧福江市、南松浦郡（旧富江町・旧岐宿町・旧三井楽町・旧玉ノ浦町・旧奈留町）の 1 市 5 町が新設合併し、五島市となった。

漁業協同組合については、H8 時点では 16 あったが、水産資源の減少や魚価の低迷等により漁協経営が悪化したことにより、現在までに旧福江市を管轄する五島ふくえ漁業協同組合、旧富江町・旧岐宿町・旧三井楽町・旧玉ノ浦町を管轄する五島漁業協同組合、旧奈留町を管轄する奈留町漁業協同組合の 3 つの漁業協同組合に集約されてきており、今後のさらなる合併については予定されていない。

②主要漁業種類、主要魚種の生産高、資源量の状況

当該圏域では、まき網、定置網、刺し網、一本釣り、養殖等の漁業が営まれ、主要な魚種は、まぐろ、ぶり、たい類、あじ類、いか類などである。

当該圏域の漁業生産量は 7,532 トン(R 1)、生産額は 79 億円(R 1)に上るが、減少傾向が続いており、資源の状況は悪化している。このような中で、食植性のウニや魚類の駆除を行い磯焼けしている沿岸の藻場等の育成場の保全に努めながら、クエ、カサゴ、ヒラメ、アワビなどの種苗放流を行うなど、つくり育てる漁業に熱心に取り組むとともに、小型魚の再放流（マダイ 15cm、ヒラメ 25cm、クエ 11cm）など資源管理への取り組みを行っている。

③水産物の流通・加工の状況

圏域内で水揚げされた水産物は、主に各漁港からトラック等で福江港に集荷された後、圏域内消費分は福江魚市へ、圏域外出荷分は長崎、京阪神等へ出荷される。なお、福江魚市は、3 漁協で共同経営されている共同販売所として位置付けられている。

代表的な加工品は、キビナゴ一夜干、かつお生節、アジのすり身などがあり、キビナゴのみりん干、かつおの生節、アジのねり製品などが、長崎県における平成「長崎俵物」に指定され、全国へ出荷されている。

④養殖業の状況

H8年からクロマグロ養殖が開始され、R1には1,796トンを出荷するまでに成長した。今後も成長化を図るために、国際的な資源管理強化の流れや養殖用種苗、餌及び販路の安定確保等の課題について対応しながら、マグロ養殖拠点化に取り組んでいる。

⑤漁業経営体、漁業就業者（組合員等）の状況

当該圏域における漁協組合員数は、近年減少傾向が続いており、R1時点で、正組合員781人、准組合員数1,330人となっている。また、漁業者の7割以上が60歳以上であり、高齢化や後継者不足が深刻化している。

⑥水産業の発展のための取組

奥浦地区では漁業集落による海鮮直売所、奈留地区では漁協による直売所を運営するとともに、大浜・増田地区ではH18から小中学生、修学旅行生、観光客を対象に、漁業体験などのブルーツーリズム活動を行っており、漁業体験施設「大浜ふれあい海工房」の整備などにより、今後、同地区が五島のブルーツーリズムの拠点となることが期待される。

⑦水産基盤整備に関する課題

水産基盤整備に関しては、高齢化が進む漁業者や女性が安心して働くことのできる環境を整え、今後の漁業生産力を維持していくことや、漁港施設は全体的に老朽化が進行しているため、現状を調査して予防保全的な対策を施すことで施設の長寿命化を図り、将来の維持補修や更新にかかるコストを縮減していくことが課題となっている。

⑧将来的な漁港機能の集約

集出荷機能や準備機能等の漁港機能については、これまでの漁業協同組合の合併集約と併せて集約されているため、今後のさらなる集約の予定はない。

(2)圏域設定の考え方		
① 圏域タイプ	外海離島型	設定理由； 近接した良好な漁場で水産物を確保し、その水産物を島内又は島外の産地市場へ出荷している
② 圏域範囲	第1種漁港：13 第2種漁港：2 第3種漁港：1 第4種漁港：3 特定第3種漁港：なし	設定理由； 島内の産地市場（福江魚市）への水産物の集約が及ぶ範囲
③ 流通拠点漁港	該当なし	設定理由； 島内の産地市場が位置する港は、交通の便がいい福江港であり、流通の拠点となる漁港は圏域内にはない。
④ 生産拠点漁港	奥浦漁港 三井楽漁港 奈留漁港 崎山漁港 荒川漁港	設定理由； 【奥浦漁港】 福江島北東部に位置し、県内有数のマグロ養殖拠点漁港であるとともに、大中型まき網漁業の基地となる漁港である。他方、近辺の好漁場に恵まれ、五島有数の沿岸漁業の拠点港としても古くより利用されているなど、利用漁船223隻・属地陸揚金額25億円を有する第2種漁港として、福江島北東部の水産物生産の中核的な役割を担っている。 【三井楽漁港】 福江島北西部に位置し、定置網漁業の陸揚基地であるとともに、他の沿岸漁業の拠点港として古くより利用されている漁港である。利用漁船107隻・属地陸揚金額3.5億円を有する第2種漁港として、福江島北西部の水産物生産の中核的な役割を担っている。

		<p>【奈留漁港】</p> <p>福江島北東部の二次離島・奈留島に位置し、中型まき網漁業の陸揚げ・準備・休けいを担う拠点港であるとともに、沿岸漁業の拠点港としても古くより利用されている。他方、奈留島南部の他漁港から漁獲された水産物を集荷立替し、隣接する相の浦港(地方港湾)から定期フェリー等により福江魚市等へ出荷するなど、第3種漁港として、奈留島南部の水産物生産の中核的な役割を担っている。</p> <p>【崎山漁港】</p> <p>福江島南東部に位置する第4種漁港であり、五島列島近海で操業する漁船の避難港として、島内外への水産物の安定供給の一端を担う漁港である。また、定置網漁業の拠点として福江島南東部の水産物生産の中核的な役割を担っている。</p> <p>【荒川漁港】</p> <p>福江島西部に位置する第4種漁港であり、東シナ海で操業する大中型まき網船団の避難基地港として、全国への水産物供給の安定化の一翼を担っている漁港である。また、県内有数のクロマグロ養殖の拠点漁港であり、属地陸揚金額は17億円にも上るなど、水産物生産の中核的な役割を担っている。</p>
⑤ 輸出拠点漁港	該当なし	<p>設定理由；</p> <p>水産物の輸出に向けた具体の計画がない。</p>
⑥ 養殖生産拠点地域	奥浦、奈留島、玉之浦湾	<p>設定理由；</p> <p>3地域とも、養殖クロマグロの生産・流通を一体的に行っている地域であり、海面養殖業算出額が奥浦24億円、</p>

		奈留島 5 億円、玉之浦湾 16 億円に上る地域である。
--	--	------------------------------

		(令和元年)	
圏域の属地陸揚量(トン)	7,537	圏域の登録漁船隻数(隻)	1,802
圏域の総漁港数	19	圏域内での輸出取扱量(トン)	0
圏域で水産物の水揚実績がある港湾数	6		
当該圏域を含む養殖生産拠点地域名	奥浦	奈留島	玉之浦湾
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における主要対象魚種	クロマグロ	クロマグロ	クロマグロ
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別生産量(収穫量)(トン)	937	197	662
当該圏域を含む養殖生産拠点地域における魚種別海面養殖業算出額(百万円)	2,415	507	1,601

2. 圏域における水産基盤整備の基本方針

(1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

① 拠点漁港等の生産・流通機能の強化

当該圏域では輸送コストが高くなるなどの離島特有のハンディを有しており、輸送コストを含めた生産コストの縮減による漁家経営の強化が課題となっている。このため、流通システムの効率化等によるコスト縮減や、高波・強風による漁船の被害回避等による水産物生産の安定化など、漁業所得の向上に向けた生産・流通基盤の強化を図る。

② 養殖生産拠点の形成

国内市場は、養殖魚の需要バランスが崩れやすく産地間競争も厳しさを増しているため、産地の特性を活かした高品質な魚を生産しながら計画的な供給や販路の拡大に取り組む。

特に、クロマグロ養殖基地化を推進するため、関連企業等との連携を図りつつ、餌料用冷凍保管庫等などの生産基盤の充実を図るとともに、安定的な生産環境の創出を図る。また、クロマグロだけでなく、ブリやマアジなど付加価値の高い魚種の養殖漁業の実現に向けた取り組みを進めていく。

(2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

① 環境変化に適応した漁場生産力の強化

当該圏域を含む五島地区の総生産量は、近年、増加傾向にあるものの、一本釣り、刺し網等は横ばいとなっている。一方で令和3年度に県下全域で実施した藻場分布調査では、海水温の上昇が原因と思われる藻場面積の減少が確認され、今後の資源の悪化が懸念されている。そのため、水産資源の回復・増大を図るため、漁業者等が自主的に行う資源管理等の取り組みと連携しながら、沿岸から沖合いまで水産生物の成長に合わせた漁場づくりや環境の改善を実施、併せて増殖場の整備効果を確認するため、潜水調査やサンプリングによる餌料生物や魚類、藻類等の生育状況を継続的にモニタリングし、必要に応じ、植食性生物の駆除や藻類種苗の追加等の対策を講じる。

② 災害リスクへの対応力強化

近年多発する台風・大雨・高潮・地震などの自然災害に備え、災害に強く、漁業者の安全・安心な暮らしと命を守る漁村づくりに向けた施設整備やソフト対策を行う。

また、機能保全計画に基づいた施設の計画的な機能保全対策を実施する。

(3) 「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得向上

① 「海業」による漁村活性化

漁業や養殖業の体験型観光について、関係団体と連携して、地域の観光資源と合わせた情報発信を行うとともに、受け皿組織と人材の育成、関係機関との連携・調整に努め、体験型観光の持続可能な受入れシステムを構築することにより、多様な観光客の集客を図り、交流人口の拡大を図る。

② 地域の水産業を支える多様な人材の活躍

女性や高齢者、新規就業者が、季節や干満の差に左右されない陸揚げ作業など、安心して働くことができる環境を整えるための浮棧橋や防風・防暑施設等の整備促進を図る。

移住サポートセンター等と連携し、漁業の魅力や生活環境情報を発信するとともに、就業支援フェア、移住相談会などを通じた漁業就業希望者の呼び込みなどを主体的に取り組む漁村地域を支援する。また、漁業体験や漁家派遣研修などの取り組みを推進する。

3. 目標達成のための具体的な施策

(1) 産地の生産力強化と輸出促進による水産業の成長産業化

① 拠点漁港等の生産・流通機能の強化

地区名	主要対策	事業名	漁港・港湾名	種別	流通拠点
奥浦	流通機能強化	水産流通基盤整備事業	奥浦	2種	
荒川	流通機能強化	水産生産基盤整備事業	荒川	4種	
崎山	流通機能強化	水産生産基盤整備事業	崎山	4種	
五島ふくえ	流通機能強化	漁村再生交付金事業	大浜	1種	
倭寇	流通機能強化	漁村再生交付金事業	倭寇	1種	
新椀島	流通機能強化	漁村再生交付金事業	新椀島	1種	
万葉	流通機能強化	漁村再生交付金事業	万葉	1種	
五島西	流通機能強化	漁村再生交付金事業	五島西	1種	

産地における水産物の価格形成力の向上と生産・流通コストの縮減を図るため、係留突堤の新設や防風柵の設置、物揚場への簡易浮棧橋の設置を行う。

② 養殖生産拠点の形成

地区名	主要対策	事業名	漁港・港湾名	種別	流通拠点
荒川	養殖拠点	水産生産基盤整備事業	荒川	4種	

養殖の陸揚・準備作業は、狭隘な用地で非効率な作業環境にあり、生産コスト縮減・就労環境改善のため、浮棧橋や道路、用地整備を行う。

(2) 海洋環境の変化や災害リスクへの対応力強化による持続可能な漁業生産の確保

①環境変化に適応した漁場生産力の強化

地区名	主要対策	事業名
五島	環境変化 資源管理 藻場・干潟	水産環境整備事業

水産資源の維持・回復を図るため、種苗放流や禁漁区の設定など資源管理の取り組みと連携しながら、沿岸域に幼稚仔魚の餌場や隠れ場、成育の場となる増殖場を整備し、その沖合には効率的な漁獲が可能となるよう魚礁漁場を整備することにより、魚の成長に合わせた漁場づくりを行う。

②災害リスクへの対応力強化

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
奥浦	安心・安全	水産流通基盤整備事業	奥浦	2種	
奈留	安心・安全	漁港機能強化事業	奈留	3種	
荒川	安心・安全	水産生産基盤整備事業	荒川	4種	
崎山	安心・安全	水産生産基盤整備事業	崎山	4種	
新椛島	安全・安心	漁村再生交付金事業	新椛島	1種	
倭寇	安全・安心	漁村再生交付金事業	倭寇	1種	
万葉	安全・安心	漁村再生交付金事業	万葉	1種	
長崎県離島	予防保全	水産物供給基盤機能保全事業	奥浦	2種	
長崎県離島	予防保全	水産物供給基盤機能保全事業	三井楽	2種	
長崎県離島	予防保全	水産物供給基盤機能保全事業	奈留	3種	
長崎県離島	予防保全	水産物供給基盤機能保全事業	崎山	4種	
長崎県離島	予防保全	水産物供給基盤機能保全事業	荒川	4種	
長崎県離島	予防保全	水産物供給基盤機能保全事業	新奈留	1種	
長崎県離島	予防保全	水産物供給基盤機能保全事業	倭寇	1種	
長崎県離島	予防保全	水産物供給基盤機能保全事業	水ノ浦	1種	

近年の大型化している台風等の波浪による施設機能不足や、老朽化した施設の改良、機能保全工事を行い災害リスクへの対応力強化に取り組む。

(3) 「海業」振興と多様な担い手の活躍による漁村の魅力と所得向上

①「海業」による漁村活性化

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点

②地域の水産業を支える多様な人材の活躍

地区名	主要対策	事業名	漁港名	種別	流通拠点
奥浦	就労環境	水産流通基盤整備事業	奥浦	2種	
崎山	就労環境	水産生産基盤整備事業	崎山	4種	
荒川	就労環境	水産生産基盤整備事業	荒川	4種	
五島ふくえ	就労環境	漁村再生交付金事業	大浜	1種	
新椛島	安全・安心	漁村再生交付金事業	新椛島	1種	
倭寇漁港	就労環境	漁村再生交付金事業	倭寇	1種	

強風時や潮位差により、準備・係留作業等が重労働かつ非効率となっていることから、防風施設や浮棧橋を整備し就労環境の改善に取り組む。

4. 環境への配慮事項

・藻場は、多種多様な生物の産卵の場や幼稚魚の成育の場、海水の浄化など多様な機能を有しているが、近年「磯焼け」の拡大による藻場の消失が進行している。

このため、漁業資源の回復には藻場回復を計画的、効果的に進める必要があるとの地域の漁業関係者が共通認識の下、10年後の回復目標を定めた「長崎県藻場回復ビジョン」(平成28年7月)に基づき、関係者が一体となってソフト事業、ハード事業の両面から総合的な藻場回復に取り組んでゆく。

ソフト事業の面では、漁業協同組合を中心に「藻場見守り隊」を設置し、回復目標に向けた長期及び各年度の活動計画を定めた「地域藻場回復計画」を策定して地域別、藻場の状況別に対応策を講じることとし、ハード事業の面では、藻場見守り隊の活動に呼応して、藻場繁茂の基質と核藻場礁を整備する増殖場の整備事業を実施し、さらに磯焼け対策緊急整備事業等を活用して早期の藻場機能の発現を促し、藻場の拡大と早急な資源回復を図るとともに、漁港施設においても環境配慮型ブロックの設置等を推進して、漁場環境の改善を進める。

5. 水産物流通圏域図

長崎県 下五島圏域 水産物流通圏域図

男女群島

下五島圏域 外海離島型
 圏域総陸揚量: 7532 t
 圏域総陸揚金額: 79.3 億円
 漁港: 19港, 港湾: 8港

天然幼魚(まき網)

圏域内・県内・県外

相の浦港(地)

新奈留漁港(1)

久賀島漁港(1)

奈留漁港(3)

圏域内・県内・県外(関西・熊本)

天然幼魚(ひき縄)

奥浦漁港(2)

県内(長崎、福岡)

天然幼魚(まき網・ひき縄)
人工幼魚(種苗施設)

万葉漁港(1)

水ノ浦漁港(1)

三井楽漁港(2)

五島西漁港(1)

荒川漁港(4)

玉ノ浦港(地)

大宝漁港(1)

黒瀬漁港(1)

山下漁港(1)

富江港(地)

大浜漁港(1)

黒島漁港(1)

倭寇漁港(1)

大浜漁港(1)

富江港(地)

黒島漁港(1)

倭寇漁港(1)

山下漁港(1)

豊島漁港(1)

赤島漁港(1)

黄島漁港(1)

新杵島漁港(1)

伊福貴漁港(1)

本瀬漁港(1)

新杵島漁港(1)

出荷凡例詳細

50t未満	
50~100t	
100~500t	
500~1000t	
1000~5000t	
5000t以上	

- : 流通拠点漁港 (うち流通・輸出拠点漁港 (輸))
- ◎ : 生産拠点漁港 (うち流通・輸出拠点漁港 (輸))
- : 一般漁港
- : 港湾 (漁業関係の利用がなされている主要な港湾のみ)
- ☆ : 産地市場
- 漁業: 主な魚種
(主な漁業種が、 (巻き網・底引き網等、)
、、 の場合は示す)
- : 水産物集約 (漁船陸揚げ)
- : 水産物集約 (陸送)
- : 加工場・消費地への出荷
(主な出荷先として、圏域内、圏域外の県内、
県外を示す。輸出している場合は、輸出先の国等を
できる限り示す。)
- : 養殖に係る水産物の流れ
- : 養殖漁場

九州地方

